**ＥＰＭＡ測定依頼処理票**

受付印

**※太字は必ず記入してください、1テーマにつき1枚書くこと**

**研究室名**：　　　　　　　　　　　　　　　**氏名**：

**緊急連絡先**（内線・携帯等）：

メールアドレス：

**試料名**：　　　　　　　　　　　**数量**：　　　　　　　　**試料サイズ**：

**観察及び分析目的**：試料分析場所を図で示すこと

**希望データ**：SEM画像、定性、定量、点分析、線分析、面分析、倍率　　　　　　　　　倍　（丸で囲むこと）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　（平･断面図、構造等）

**＜各機種の推奨試料サイズ＞**

●原則、鏡面研磨、無機固体であること。粉末の場合は樹脂包埋処理した後の研磨が必須。

●樹脂包埋処理後、研磨した試料が望ましい。なお、樹脂包埋処理は真空脱ガス処理をすること。

樹脂包埋された試料は25mmφ×１0mmH、27mmφ×１0mmH 、32mmφ×１0mmH

または３７mmφ×１0mmHにおさめる事。試料固定と水平度が重要なので導電性樹脂包埋が理想的。

●樹脂包埋しない場合の試料サイズ20×20×10Hmm以内（分析面と底面が平行であること）

小さくできない試料は要相談のこと。

**＜試料の洗浄と搬送方法＞**

固体試料の洗浄は超音波で最低2回実施(溶剤はアセトンが一般的)

樹脂包埋試料の場合はケイドライを用い、研磨をアセトンで拭き取ること。

搬送法は蓋つきのプラスチック容器に入れること。（動かぬ様テープにて端を接着）

**＜参考技術＞**

検出限界はEPMA（WDS）で100ppm（ただしＢ以上）

エネルギー分解能はEPMAで10eV、面分析の分解能は約１μm（元素により異なる）

分析の特徴は定量精度、重複元素の分離と検出限界にあり。

以上